

王滝自然学校事業「おうたき やまの子キャンプ」

取組に至る背景・事業の目的

<経緯>

王滝村は児童数の深刻な減少が続いており、現在は40名を下回る状況である。その中で村の豊かな自然の持つ教育力を活かした村内外の子ども向けの自然体験事業を村のNPOと放課後子ども教室等を運営する任意団体とで連携して立ち上げた。

<目的>

王滝村の豊かな自然をフィールドに定期的(月1回程度)な子どもたちの自然体験学習の機会を創出する。また村内児童数が減少する中で村外の子どもたちとのつながりづくりも推進するため木曾郡を中心に様々な市町村の子どもたちを受け入れ、交流の機会を作る。

事業内容

- ・ デイキャンプ、宿泊キャンプを年間12回企画し10回実施(御嶽山噴火災害等による中止あり)
- ・ プログラムとしては山菜採り、林鉄敷道歩き、カヌー、野外テント設営、スノーシューなど季節や王滝の特色を活かした毎月異なるプログラムを実施
- ・ 運営は運営団体のスタッフの他、保護者ボランティアや長期キャンプにおいては都市部の学生なども受け入れた
- ・ 様々な王滝の「知恵」を活かすため、植物に詳しい村民やそば打ち名人の村民などを講師として招き、村の資源を子どもたちが学ぶ機会づくりも行なった



【6月瀬戸川ウォーキングの様子】

事業効果

- ・ 年間10回の多様なプログラムを通じて村の自然と子どもたちが触れ合う機会を作った。村内の子どもたちの参加者数も過去の同様の取組に比べ倍以上となった(延べ130名 ※村内在住の小中学生48名)
 - ・ 普段よりも不便な体験を通じて、試行錯誤の中で子どもたちの「できること」が増えていき、生活力や自主性の向上に繋がった
 - ・ 過去の取組ではゼロに近かったが、本企画では年間100名弱の村外参加者があった。交流の繰り返しと深度は、王滝の子供だけでなく大人も含め限定されがちな人間関係の多い地域において新たな風を吹かせる画期的な成果であった
- ※ 事業年度以降も事業を継続しているがリピーターだけでなく、口コミなどで村外・県外からの新たな参加者も増えている

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

取り組みが知られていく前は村外の子どもたちの広報・募集に苦労した。課題としては安全なプログラムを継続するためにより多くの運営スタッフ・ボランティアスタッフを確保していくことが必要。村外にも本事業を支えて頂ける大人のスタッフのネットワークを作っていけると良い。

平成27年度は年間8回のプログラムを企画している。引き続き、特に木曾郡の子どもたち同士のつながりを作る場としても企画を行なっていきたい。王滝の自然・文化に新たに子どもたちだけでなく大人も目を向ける機会にしていき、地域の教育力向上にもつなげていくのが目標。

【選定のポイント】

育成会、地域おこし協力隊など多様な主体が村ぐるみで協力し受け入れを実施したことを評価。また、村の自然を活かした体験プログラムの継続実施により、御嶽山だけによらない村の観光資源として今後の発展に期待が出来る。

団体名	NPO 法人自然科学研究所(王滝村)	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	やまの子キャンプ事務局	事業費	651,421円
ホームページ	http://outaki-camp.jimdo.com/	支援金額	488,000円